

議会報告会報告書

平成24年10月30日

山陽小野田市議会

議長 尾山信義 様

A班

代表 伊藤 實

平成24年9月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成24年10月19日（金） 19:00～

2 開催場所

保健センター

3 参加人数（市民）

14 人

4 担当班議員名

（伊藤 實）（伊藤 武）（岩本信子）（河野朋子）
（下瀬俊夫）（硯谷篤史）（松尾数則）

5 報告会次第

- （1） 市議会議長挨拶
- （2） 9月議会の報告
 - ① 総務文教常任委員会
 - ② 民生福祉常任委員会
 - ③ 産業建設常任委員会
 - ④ 一般会計決算審査特別委員会
- （3） 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

① 下水道の普及率はどうか。

[回 答]

23年度末の普及率は50,4%である。総合計画では年1%の目標。

② 市のごみ処理場建設入札が不透明なのに、賛成多数で可決していることはどうか。

[回 答]

コンサルタントをプロポーザル方式により、日本環境センターになっている。ごみ処理施設の業界は狭くネット等で調べると、日環が入ると川崎技研が落札している議論となったが、今回の落札は違法ではなく、委員会の中では後戻りできないと判断した。4人反対した。

③ 附帯決議8番の「子どもの将来に対する投資」について。

[回 答]

教育委員会では「財源がない」ということが多いが、若い人たちに住んでもらうための環境や人材育成などに投資すべきで、教育委員会の思いをぶっつけて財源確保をしていない。

④ 教育委員会のあるべき姿はどうか。

[回 答]

給食センターが2箇所変わったことは、教育委員会会議の前に話し合っていることや、青年の家床整備は予算化されたが、厚狭小の体育館も床整備が必要だが教育委員会には上がってきていない。またいじめ問題も0となっていることなど問題がある。総務委員会では視察や調査をしてチェックする。

⑤ 有線放送撤去費用の5000万円の具体的計画とスケジュールはどうか。

[回 答]

JAで臨時職員を3人雇用している。電柱や電線の処理を1人でしていく。具体的スケジュールはわからない。電柱は清掃工場に運んで利用されている。5000万円のほとんどが人件費である。

⑥ 水道事業の決算について、配水コストが県下で5番目だが、委員会では、企業手当や職員給料はいつ頃改善されるのか等審議されているのか。

[回 答]

意見は十分に尊重する。

⑦ 空き家バンク定住促進事業の評価について議員にばらつきがあるのはなぜか。

[回 答]

2600万円の100%補助金事業で、成果は2年間で6件である。雇用促進の目的もあり、2分の1以上を人件費に使い、5人が採用されている。役員に月30万・20万円また時給が1250円となっており、委員会で監査請求を出している。問題点として①2社でのプロポーザル方式による評価審査の仕方はどうであったか。②大きな金額に対して仕事ができている。高い給料を身内に出していたのではないか。などである。

⑧ 地方バス路線維持対策事業について、山陽と小野田の乗車に差がある。またデマンド交通の予算はついているのか。

[回 答]

デマンドは予算はついていないが、その方向にもって行きたい。乗客の差は人口比もある。

また、交通活性化の法定協議会で話しているが、メンバーは業者が多く業者サイドで話し合いが進んでおり、いつまで経っても検討中が多い。抜本的に組織の見直しが必要ではないか。事業を集中調査することにより執行部も変わってきている。バス路線もそのような中で進んでいる。

⑨ オート事業の財政問題。契約の見込みはどうか、また災害が理由で売り上げが減少といわれたが、それ以前はどうか。払戻金が70%となる影響はどうか。

[回 答]

今後トップ同士の協議という回答しかなくそれ以上はなかった。机上では33度には今の損金5億が0になるとしている。次の委託契約が命運をわける。委員会では引き続き調査していく。また、売り上げは減少傾向にある。今は電話投票が中心となっている。払い戻しについては、担当課では収入が増えるという見通しである。